

「呉竹バルーン構想」Ⅱ

～くれたけから幸せの風を～

めざす

学校教育目標
 社会参加し、自分らしく生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現する

大切にしたい4つの因子

- 「やってみたい」「ありがとう」
- 「なんとかなる」「自分らしく」

学校経営の指針

- 子どもも教職員も学び育つウェルビーイングな学校
- 危機管理を徹底し、子どものいのち・人権を守りきる
- 共生社会、地域づくりの核となる学校の役割を果たす

令和8年度重点的取組

- 各委員会、プロジェクトを中心に、地域社会に開かれた学校づくりを行う
- <目標1> 授業の創意工夫や改善を図り、魅力ある教育の実践と発信を行う
 - 子どもの思いや反応を丁寧に受け止め、自分を取り巻く環境に適切に対応する力を育む
 - 子どもの可能性を広げ、生活を豊かにするための手段として、ICT機器等を有効活用する
 - 子どもが何を学び、何ができるようになるのか、学んだことをどう生かすのかを考え授業づくりを行う
 - 自己選択、自己決定、子どもの達成感を重視し、子どもの主体的な学びを実現する
 - <目標2> 地域連携、地域協働、地域支援の充実を図る
 - 地域支援の核となる様々な業務の充実を図り、共生社会の実現に向けた取組を進める
 - 個々の願いに応じた地域での学習、交流及び共同学習の充実を図る
 - <目標3> 活発な研究活動を通して働きがいをも高める
 - 授業者発信の主体的で活発な授業研究、研究活動を通して、より良い授業づくりを行う
 - <目標4> 働きやすさを追求し働きがいをも高める（業務改善と環境整備 学校を美しく）
 - ワークライフバランスを実践するとともに、組織的・効率的な業務の見直しを図る
 - 不祥事の防止を徹底し、風通しの良い職場、心理的安全性の高い職場をつくる

推進する 風に乗る



振り返る

- 呉竹の強み
- 多様な文化を受け入れる柔軟性や寛容性
 - ・子どもの自由で多様な表現活動
 - ・ICT活用、芸術、スポーツ、余暇活動など先進的で充実した取組
 - 教職員の協力和迅速な行動力
 - 学部を超えた児童生徒のかかわり
 - 行事に向かうパワー
 - ・学校祭（体育の部・文化の部）等の行事に向けた取組

- 呉竹の伸ばしたい点
- 学校力とチーム力
- 学習内容の継続性と連続性
 - 関係機関との連携や協働
 - 地域への発信と協働
 - 教職員の専門性、資質能力の向上
 - 危機管理する力
 - よりよいチームづくり

めざす児童生徒像

- 自分の心や体を大切にする
- 人を大切にし、共に生きる
- 意欲や関心を持って主体的に活動する
- 自分の思いや考えを伝えようとする
- 願いや夢に向かってすすむ
- 役割を担い、役に立とうとする
- 自分から挨拶をする
- ルールや約束を守る

めざす教職員像

- 児童生徒の健康・安全を守る
- 児童生徒を愛し、児童生徒の人権を大切にする
- 児童生徒の主体性を尊重する
- 授業を大切にし、熱意をもって、児童生徒を教育する
- 自らの専門性向上をめざして日々精進する
- 保護者や地域と連携し、他の教職員と協力しながら仕事をする
- ライフ・ワークバランスを実践する

めざす学校像

- 生命を守り切る学校
- 児童生徒の学びを大切にする学校
- 信頼される学校（保護者や地域との信頼関係を基にした、安心・安全で開かれた学校）
- 子どもや保護者、地域に夢や希望を与える学校
- 心理的安全性が高く、一人一人の力が発揮できる学校
- 「明日も行きたい」と思える学校

共生社会の実現・自立と社会参加

令和8年度各部の目標（取組の重点）

指導部	小学部	中学部	高等部	
児童生徒 保護者 地域	様々な経験を通し、興味関心をひろげるとともに、やりたいことを実現するための力を育てる (1)健康な身体を作る (2)好きなことややりたいことを見つけ広げる教育を実践する (3)他者とともに生きるための素地を養う ◆週予定の簡略化、学部会や主任会の内容の精選、基本時間割の見直し、教材・教具の積極的な活用（呉竹教材ラボ）、業務の共有（依頼ボード、金午後の有効活用）、年間業務の見直し（前倒し新学期準備、年間指導計画作成、業務スケジュールの作成）	子ども一人一人の可能性を広げる (1)基礎的・基本的な力をさらに高める (2)自ら考え、自ら活動する主体的な態度を育む (3)家庭や地域等さまざまな場面でチャレンジする態度を育む ◆「教材・教具」の共有、「年間学習計画」の共有（学年ライフスタディ）・「生徒情報」の共有（一人で抱え込まない）・「週予定」の共有、供覧印の簡略化・「教材フォルダ」の積極的な活用・支援や教示内容の共有・学部業務マニュアルの作成	これまで培った力をもとに、学校・家庭・地域の中での活動を通して社会参加と自立に向けた実用的な力を伸ばす (1)自らの目標の実現に向かって、主体的に考え行動する意欲や態度を培う (2)社会の中で必要なルールやマナーの定着を図り、社会の一員としての意識を高める (3)一人一人の願いの実現を目指して、自己理解・自己選択・自己決定する力を育てる ◆毎週金曜日！余暇ろう Day！ ・余暇の充実を図るための定時退勤 ◆整理整頓！クリーン Day！ ・毎週の清掃日と合わせて教材・教具、職員室資料の整理	
	支援部	○学校教育目標の実現に向けて、児童生徒の願いを実現するための校内支援を行う ○地域における総合育成支援教育相談支援センターの核として、地域支援の充実を図る ○相談支援機能の土台としての専門性を高め、維持、更新を図る ○校内支援・地域支援への活用に向けて、新校舎特別教室の整備を行なう ◆会議は30分以内で ◆育支援センター業務マニュアルのアップデート ◆記録等の記述方法を見直し、効率化を図る		
	総務部	各部が円滑に連携して業務遂行できるよう、企画・運営面での調整を図る (1)児童生徒・教職員にとって安全で快適な学習環境・職場環境整備を推進する (2)教務一般の業務を迅速に行い、各部の業務が円滑に遂行されるよう努める (3)広報活動を通して、情報発信の活発化を図り、開かれた学校づくりを推進する (4)グランドデザインに基づいた予算の編成をはじめとした各種計画をもとに効率的・効果的な執行を図る		

つながる力・発信する力・協働する力

幸せの風